



HAKUBA H.S. Report Channel

白馬高校レポートチャンネル

令和4年4月15日（第168号）

発行：白馬高校 教務係

TEL 0261(72)2034(代表)

ホームページも
ご覧ください⇒



白馬
高校

4月6日 新任式・1学期始業式



新2、3年生が新年度のスタートを切りました。新任式では、9人の新任職員が紹介されました。令和4年度の白馬高校職員は総勢39人となります。チーム一丸となって、生徒が充実した学校生活を送れるよう全力でサポートしていきます。



続いて行われた始業式では、学校長から2つの話がありました。1つは「学びの1回性」について、もう1つは「ファーストペンギン」についてです。積極的に学校の「外」に出て自分の直感を育み、不確実なことに向き合う勇気を持って新しいことに挑戦しよう、という学校長の力強いエールの言葉に、生徒だけでなく職員も新年度に向けて気持ちを新たにしました。

4月7日 入学式



外の空気はまだ冷たいながらも暖かい日が差す春の日に、令和4年度入学式が挙行されました。吹奏楽部員から、新入生の入退場の際に演奏したいという嬉しい申し出を受け、今年は初めて生演奏による素敵なマーチで新入生を迎え入れました。

今年の新入生は普通科と国際観光科合わせて44人です。新入生代表の宣誓では、松沢悠那さんが「3年後、自分に自信を持って、仲間と共に笑顔で新たな一歩を踏み出せるように」と、新たな生活への決意を語ってくれました。

入学式後のホームルームでは、新しい仲間とさっそく談笑する生徒の姿が見られました。新たな環境で、新たな仲間とともに白馬だからこそできることに精一杯取り組んでほしいと思います。





入学式翌日の8日、生徒会の生徒が主体となって新入生歓迎会を開催しました。

2、3年生の先輩たちは、学校生活や文化祭の様子、生徒会の委員会活動、部活動の様子について、作成した動画を流しながらそれぞれが工夫を凝らした発表を行いました。弓道部は体育館の後ろで見事な演武を披露してくれました。

入学したばかりの1年生ですが、先輩たちの話を聞いて白馬高での生活を少しはイメージできたのではないのでしょうか。これから、それぞれが夢中になれるものを見つけてほしいと思います。

環境授業 カエデの樹液採取&メープルシロップの精製



環境の授業の一環で、普通科の2年生6人が2月中旬から3月にかけて、イタヤカエデの樹液取りとメープルシロップの精製を体験しました。「安曇野森林づくり企画」の山口真保呂さんを講師としてお招きし、生徒たちは爪かんじきを履いて、雪深い小谷村の森の中をカエデのある場所まで歩きました。

メープルシロップの原料となる樹液は、工具で幹に穴を開けてホースとポリタンクを使って採取します。初日は、樹液は出ませんでした。後日行った2回目の採取では60Lの樹液を取ることができました。



3月下旬に、採取した樹液を煮詰めてメープルシロップを精製しました。なんと60Lあった樹液は精製すると1Lになりました。糖度は約2%から66%に変化します。

シロップを精製している間にカレーを作り、できたてのシロップを入れたカレーとそのままのカレーの食べ比べも行いました。参加した生徒は「シロップになる前の樹液が透明なのに驚いた。シロップを入れたカレーは自然な甘さがした」と感想を語りました。

今後もこのような実体験を通して、生徒が地域や自然環境について学ぶ機会を作っていきます。

